霞城 KAJYŌ

第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html
第20普通科連隊 検索

No.712

積雪寒冷地における作戦遂行能力の確認

「令和3年度第3次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施

スキー行進開始

「第51回 新庄雪まつり」に協力

雪像引き渡し式において新庄雪まつり実行員会の皆様と記念撮影

Contents

2ページ
- 積雪寒冷地における作戦遂行能力の確認 「令和3年度第3次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施
- 「山形県総合運動公園雪フェスタ」に協力

3ページ
- 今年も来たぞ!自衛隊の巨大雪像! 「第51回新庄雪まつり」に協力
- 初級幹部 能力向上を図る 「令和3年度師団ICE訓練」に参加
- 新成人 自覚新たに 「令和3年度駐屯地成人行事」に参加

4ページ
- イベントの運営に協力 「第10回天童高原スノーパークフェスタ」に協力
- ようこそ！ 20連隊へ 「一般幹部候補生着隊行事」を実施
- 各種表彰
- 陸曹候補生及び一般陸曹候補生入校予定者指定 おめでとう！
- 定年退官者紹介
- 3月行事予定

2022 February 2

「令和3年度 第3次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施

積雪寒冷地における作戦遂行能力の確認

集結地を目指して前進

1月26日(水)から27日(木)までの間、大高根演習場(村山市)及び西訓練場において「令和3年度第3次基礎となる部隊の訓練検閲」が行われ、第1中隊(中隊長：野村2佐)が4年振りに冬季における訓練検閲を受閲した。

本訓練検閲は「スキー行進に引き続き、独立的に遊撃行動に任ずる普通科中隊の行動」を課目とし、積雪寒冷地における作戦遂行能力を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的として行われた。

訓練開始に先立ち、25日(火)、駐屯地体育館において隊容検査が行われ、統裁官(連隊長：荒木1佐)は「指揮の要訣の具現化・実践」「部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作の確行」「健康管理・安全管理を万全」の3点を要望し、「中隊長を核心として、全隊員が一丸となり、任務の完遂に邁進する事を期待する。」と訓示を述べた。

26日朝、状況開始とともに観音橋南側から演習場内の集結地に向けてスキー行進を開始、各隊員は行進計画に基づき速度の維持、隊形の保持等に着意しながら整斉と行進を実施した。休止間、警戒員は積雪地の特性を踏まえ、スキーストックを使用した銃座を活用して、直ちに火力発揮できる態勢を整えるなど、敵を意識した行動に努めていた。また、集結地到着前には先行班を派遣し、速やかな安全化及び誘導の処置を行い、主力進入の円滑化を図り、偵察活動、宿営準備に取り掛かった。

27日早朝、月明かりが演習場を薄暗く照らす状況の中、第3小隊(小隊長：西村3尉)は、行動拠点から伏撃予定地に前進、地形等を利用して身を潜めつつ、目標車両接近の兆候を監視した。目標車両が接近するやいなや、火力支援班の迅速・的確な火力発揮で敵を一掃、突入班が速やかに車両検索から爆破までの一連の行動を行った。

引き続き、駐屯地西訓練場に部隊を集結させ、襲撃行動に移行した。偵察間、受傷者が発生するも速やかな第一線救護を実施するとともに、直ちにアキオで後送し、UH－1J(第6飛行隊)を用いたホイストまでの行動について適切に処置した。

また、第1小隊(小隊長：土田2尉)及び第2小隊(小隊長：丹野准尉)は中隊突入命令下達後、速やかに突入準備を完成させ、突入支援射撃のもと、速度を発揮して突入、目標の破壊任務を完遂した。

検閲間、冬季における厳しい環境下であったが、全隊員が与えられた任務に対して最後まで諦めることなく取り組み、一人ひとりが自己の責務を全うし、第1中隊は任務を完遂した。

優秀隊員紹介

中隊本部	通信陸曹	3曹	沼澤　翔輝
第1小隊	通信手	士長	工藤　柊太
第2小隊	通信手	3曹	大場　俊輝
第3小隊	小銃手	3曹	簾内　輝
迫撃砲小隊	分隊長	3曹	笹　円
狙撃班	副班長	2曹	奥山　与行

伏撃

車両検索

受傷者を後送し、UH－1Jによるホイスト

機関銃射撃で火力支援

「山形県総合運動公園雪フェスタ」に協力

真摯に作業に取り組む

1月18日(火)から23日(日)までの間、山形県総合運動公園において山形県総合運動公園指定管理者株式会社モンテディオ山形が主催する「山形県総合運動公園雪フェスタ」に協力した。

本協力には、第4中隊 渡邉1曹以下8名が参加し、雪灯篭や雪だるま、すべり台などの造形協力のほか、22日(土)23日(日)のイベント当日には装備品展示(軽装甲機動車)を行った。

準備期間中、寒波の影響により大雪に見舞われる日もあったが、隊員たちは安全管理に十分留意しつつ除雪作業を行うとともに、アルミスコップ等を巧みに使いこなしながら、イベント当日までに造形作業を完了させた。

イベント開催日の両日には、同会場においてBリーグ(プロバスケットボール)が開催されており、多数の来場者が訪れ、すべり台を楽しむ親子連れや、装備品と記念写真を撮影する方々の笑顔で会場は活気に満ちていた。

連隊は、本協力を通じて、イベントの整斉円滑な運営に寄与するとともに、地域住民の自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。

装備品を紹介

記念撮影

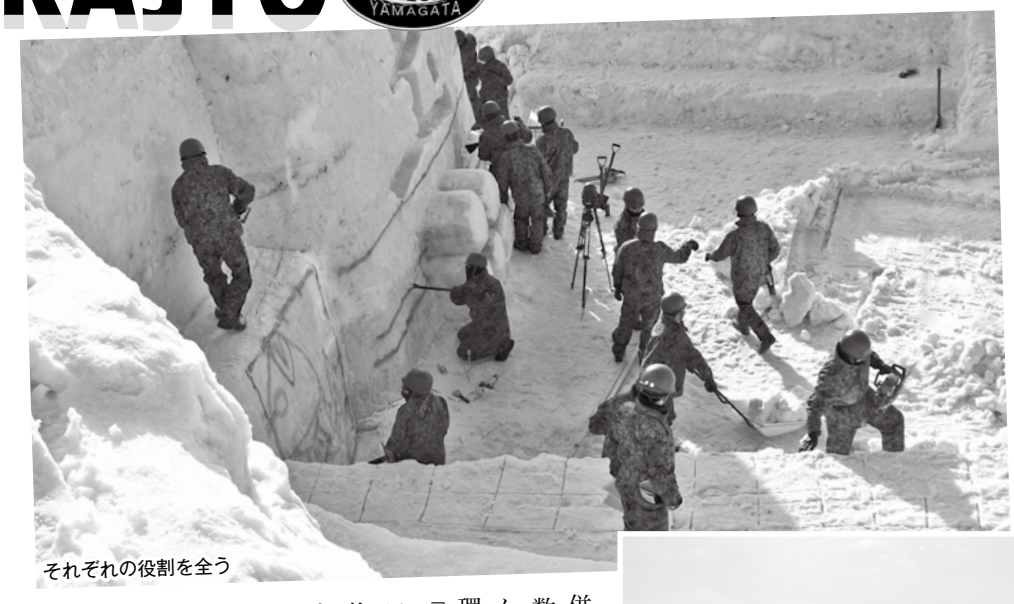
「第51回新庄雪まつり」に協力

今年も来たぞ！自衛隊の巨大雪像

第20普通科連隊（連隊長：荒木1佐）は、2月12日（土）から13日（日）までの間、新庄最上中央公園において開催された「第51回新庄雪まつり」にメイン雪像制作及び会場準備、車両展示、行事運営に協力した。

本イベントには第1中隊　菊地曹長以下25名がメイン雪像制作に協力した。作業は6日（日）から始まり、日中から夜間まで実施され、アルミスコップやチェーンソーを巧みに使いこなし、「宝船」をモチーフにした高さ約7m、幅約15mの巨大雪像を完成させた。11日（金）にはメイン雪像引き渡し式が行われ、主催者（新庄雪まつり実行員会）に引き渡された。

12日（土）、13日（日）には、メインステージでもある雪像の周りに多くの人々が集まりイベントを楽しむとともに、雪像に併設された巨大すべり台では多数の子供達が歓声をあげて楽しんでいた。また、運営協力の一環として、実行員会が主催する「雪上運動会」や「雪中バトルロワイヤル（雪合戦）」の展示を実施し、自衛官らしい機敏な動作を見せた。そのほかにも、雪像の維持管理や運営協力等を実施し、多くの来場者を楽しませた。イベントに訪れた方々は「自衛隊が作った雪像すごい！また来年も見にきたい！」とコメントしていた。


それぞれの役割を全う

多くの来場者が訪れた

巨大すべり台には大行列ができた

「令和3年度 師団ICE訓練」に参加

初級幹部能力向上を図る

2月9日（水）から15日（火）までの間、神町駐屯地及び仙台駐屯地東北方面指揮所訓練センター（BCTC）において指揮所訓練統裁システム（ICE）を用いた「令和3年度師団ICE訓練」が行われ、師団司令部の幕僚活動能力の向上に寄与するとともに、連隊の初級幹部等の幕僚活動能力の向上を図ることを目的に参加した。

連隊からは第3中隊運用訓練幹部（森1尉）を長として、各中隊の初級幹部を中心（他：運用入力班等）に53名（対抗部隊含む）が参加、師団第一線で攻撃する普通科連隊として、適切な統制・調整に基づき、積極的に各部隊と連携を図りつつ、作戦を整斉と遂行し、任務達成に向け、真摯に取り組んでいた。

連隊長現地指導

「令和3年度 駐屯地成人行事」に参加

新成人自覚新たに

1月21日（金）、神町駐屯地体育館において「令和3年度駐屯地成人行事祝賀式」が挙行され、連隊から48名の新成人が参加し、その御家族44名が参列した。

式では、執行者（駐屯地司令：叶謙二陸将補）や東根市長 土田正剛様、陶芸クラブ講師 伊藤瓢堂様をはじめ、来賓者からお祝いの言葉を頂くとともに、昨年成人した先輩隊員から激励の言葉が贈られた。新成人たちはそれぞれの言葉を心に刻み、成人としての自覚を新たにしていた。

会場には新成人たちが記念品として自ら作成した「盃」が展示されており、隊員たちは「盃」に刻んだ抱負を御家族に紹介したり、記念写真を撮影する等、家族との時間を楽しんでいた。

式終了後、報道各社が取材に訪れ、取材を受けた第2中隊 伊藤陸人士長は「新成人らしく謙虚に一生懸命、訓練に取り組み、地域の方々に信頼される自衛官を目指します。」と抱負を語った。

自ら作成した「盃」を家族に紹介

家族と記念撮影

成人祝賀式の様子

新成人の決意

本部管理中隊

名前　内田（うちだ）　敦士（あつし）　1士
出身　熊本県熊本市

新成人の決意　海上自衛隊航空学生に合格しました。4月からはパイロットを目指して頑張ります。SH60Kに乗りたい！

第1中隊

名前　横澤（よこさわ）　拓海（たくみ）　士長
出身　山形県白鷹町

新成人の決意　陸曹候補生選抜試験合格！

第2中隊

名前　武田（たけだ）　彪冴（ひゅうが）　士長
出身　山形県東根市

新成人の決意　信頼される隊員になれるように頑張ります！

第3中隊

名前　鈴木（すずき）　裕弥（ゆうや）　士長
出身　山形県飯豊町

新成人の決意　これまで以上に自覚ある行動をして、何事にも努力を惜しまない！

第4中隊

名前　小松（こまつ）　歩夢（あゆむ）　士長
出身　山形県東根市

新成人の決意　仕事面や一人の大人として信頼される隊員になる！

重迫撃砲中隊

名前　上田（うえだ）　せいら　士長
出身　福島県二本松市

新成人の決意　親孝行する！

3月行事予定

3日(木) ・連隊戦技競技会

14日(月) ・定期異動

各種表彰

【服務優秀中隊】
（無事故日数500日達成）
・第４中隊

【第２陸曹教育隊長より褒賞状】
（第10期陸曹中級課程において成績優秀）
・第１中隊　２曹　五十嵐祥倫

【１月警衛勤務優秀らっぱ手】
・本部管理中隊（４日上番）　３曹　馬渕　義人
・第２中隊（６日上番）　士長　加藤　和馬
・第１中隊（10日上番）　３曹　新田　稜
・第４中隊（17日上番）　士長　上野原大夢
・第２中隊（18日上番）　１士　伊藤　陸斗
・第３中隊（20日上番）　３曹　布施　守

陸曹候補生及び一般陸曹候補生入校予定者指定おめでとう！

（2月１日付）

○　第141期陸曹候補生

・	第１中隊	新山　智也
	同	工藤　柊太
・	第３中隊	高橋　京史
・	第４中隊	菅原　佑太
	同	鈴木　優太
・	重迫撃砲中隊	金子　潤希
	同	渡辺　草太

○　補生入校予定者

・	本部管理中隊	阿蘇　拓矢
・	第１中隊	阿部　響
・	第２中隊	武田　彪冴
・	第３中隊	寺崎　幹太
・	第４中隊	太田　龍馬
	同	齋藤　京佑
	同	細谷　龍聖
・	重迫撃砲中隊	滝口　真冴

永年の勤務、お疲れ様でした！

定年退官者紹介

・第３中隊
・吉田　誠　准尉
・１月31日付
・東根市在住

イベントの運営に協力

「第10回天童高原スノーパークフェスタ」に協力

1月27日(木)から2月6日(日)までの間、天童高原スキー場において「第10回天童高原スノーパークフェスタ」に協力した。

本イベントには、重迫撃砲中隊 佐藤曹長以下15名が雪像制作に協力した。雪像制作間、吹雪等の悪天候に見舞われる場面もあったが、隊員たちは強い責任感のもと、真摯に取り組み、イベント当日までに雪像を完成させた。

イベント開催日の5日(土)には、スキー訓練隊(教官：重迫撃砲中隊 加藤2曹)3名が自衛隊スキーにおける滑降のデモンストレーションを、バイアスロン訓練隊(教官：第1中隊 高橋1曹)8名がバイアスロン競技のデモンストレーションを行い、素晴らしい滑降技術及び迫力ある競技を披露し、観衆から盛大な拍手が送られ、イベントを盛り上げた。

連隊は雪像制作及びデモンストレーションを通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進及び親近感の醸成を図ることができた。

会場の様子

バイアスロン訓練隊によるデモンストレーション

今年の干支「寅」の雪像を制作

ようこそ！20連隊へ

「一般幹部候補生着隊行事」を実施

1月28日(金)、2号隊舎後において「一般幹部候補生着隊行事」を実施した。

行事では、1月27日付けで着隊した一般幹部候補生2名を、連隊の隊員が盛大な拍手で出迎えるとともに、連隊長(荒木1佐)が「土地になれ、人になれ、仕事になれ、同じ20連隊の隊員として精進してもらいたい。」と述べ、一般幹部候補生たちを激励した。

申告時には緊張した様子を見せながらも、節度ある基本教練及び大きな声で申告するなど溌剌颯爽とした姿が印象的であり、決意表明では「何事にも挑戦する気持ちを忘れずに頑張っていきたい。」と述べていた。

着隊した一般幹部候補生は、3月下旬まで各中隊で隊員たちと営内生活をともにし、各種訓練を経験して、幹部自衛官としての一歩を踏み出す。

着隊した2名を盛大な拍手で出迎えた

申告

連隊識別帽を贈呈

一般幹部候補生紹介

第2中隊へ

坂元　央歩（さかもと　ひろむ）
・年齢　22歳
・出身　宮崎県
・出身校　防衛大学校
・一言　早く部隊の戦力になれるように一生懸命頑張ります。好きな言葉は「状況開始」です。

第3中隊へ

加藤　敢太（かとう　かんた）
・年齢　24歳
・出身　東京都
・出身校　専修大学
・一言　熱望していた普通科に内示を頂き、大変光栄に思います。何事にも前向きに日々挑戦していきます。

令和四年二月二十八日発行　発行所／山形県防衛協会　印刷／藤庄印刷株式会社